



富士見町議会議長

三井幹人

新年明けましておめでとございます。新しい年が大きな災害や事故の無い、穏やかな年になるよう願うところです。最近の新聞やTVが伝える世相は、暗くなる事や心が痛むことばかりと感ずます。確かに長引く地方経済の低迷や、グローバル化による新たな貧困層の出現、それに伴う事件など、現実はそのようなかもしれません。しかし同じ20年目を迎えた昭和の時と比べればどうでしょうか。昭和はその後団塊世代を生み、高度成長を成し遂げ、世界史に残る復活を成し遂げました。他方平成は人口減少と高齢化が進む時代で、昭和の時と同じ成功体験は出来ない状況です。こんな時こそ新しい時代に合った活動や政策で、青年に希望が持てお年よりが安心して暮らせる世の中になるよう地方から声を上げようではありませんか。

などと、大それた夢をみる新年です。今年が町民各位にとって素晴らしい年になりますようお願いすると共に、議会活動への叱咤激励も合わせてお願い致します。

## 10月臨時会の概要

### 予算

○一般会計補正予算  
落合保育園施設改修費として

207万9千円

これは、建築基準法改正により、耐震基準が見直され、補強方法に変更が生じ、工事増となったため、その分の工事費を補正するものです。

また、園児のことを考え、冬季に入る前に工事を終わらせるため、今回提案されたものです。

10月臨時議会は、22日に開催され、9月定例会では詳細が決まらず、間に合わなかった事業、また、季節的に冬前に行いたい工事3件、1375万1千円を追加する一般会計補正予算を審議し、原案どおり可決しました。

医療施設改修費補助  
金として

1100万円

町は、少子化対策、子育ての根幹をなす部分として必要と考え、産科の開設を高原病院に依頼してきました。

歩道整備費として

67万2千円

平成18年から3年間、県から、信州森の小径整備事業としての補助を受けて、入笠湿原遊歩道の整備を行っています。

補助率は2分の1。9月定例会後、県の補助金の詳細が決まり、この補助金を増額補正するものです。

このたび、高原病院では、産科開設に必要な婦人科・小児科の医師確保の目途がつき、平成21年の4月の開設を目指しています。

これに対し、町では、旧法務局の一部を医師の常駐施設として改修するための費用の2分の1を補助するものです。

また、冬季に入る前に工事を終わらせるため、今回、提案されたものです。